

島テレワーク合宿モニターのご案内

委託元:愛媛県 委託先:オオミシマワークス合同会社
「令和2年度テレワーク関係人口創出モデル構築事業」



”島テレワーク合宿”実証参画のお願い

新型コロナウイルス感染拡大を契機に首都圏を中心にテレワークが普及し、地方で暮らし働く選択肢が広まるなど、テレワーカーが地方で働く場所となるコワーキングスペースの重要性が高まっています。

そこで愛媛県では、テレワーカーの関係人口を創出する仕組みづくりを構築するとともにテレワーカー受入体制の強化を推進しています。

当事業は、次の2つの特徴があります。

1. **働き方を含めた暮らし方をトータルリデザインすることで、社員のQWL/QOLの向上を目指します。**
2. **ローカルビジネスとのコラボレーションを生み出し、都市圏で成し得ない新たなビジネス創出を目指します。**

当事業の実証(愛媛県委託)のため、**合宿費用の一部を負担**いたします。

ぜひこの機会に、瀬戸内の島のテレワーク合宿モニターへのご参画を検討いただけますと幸いです。

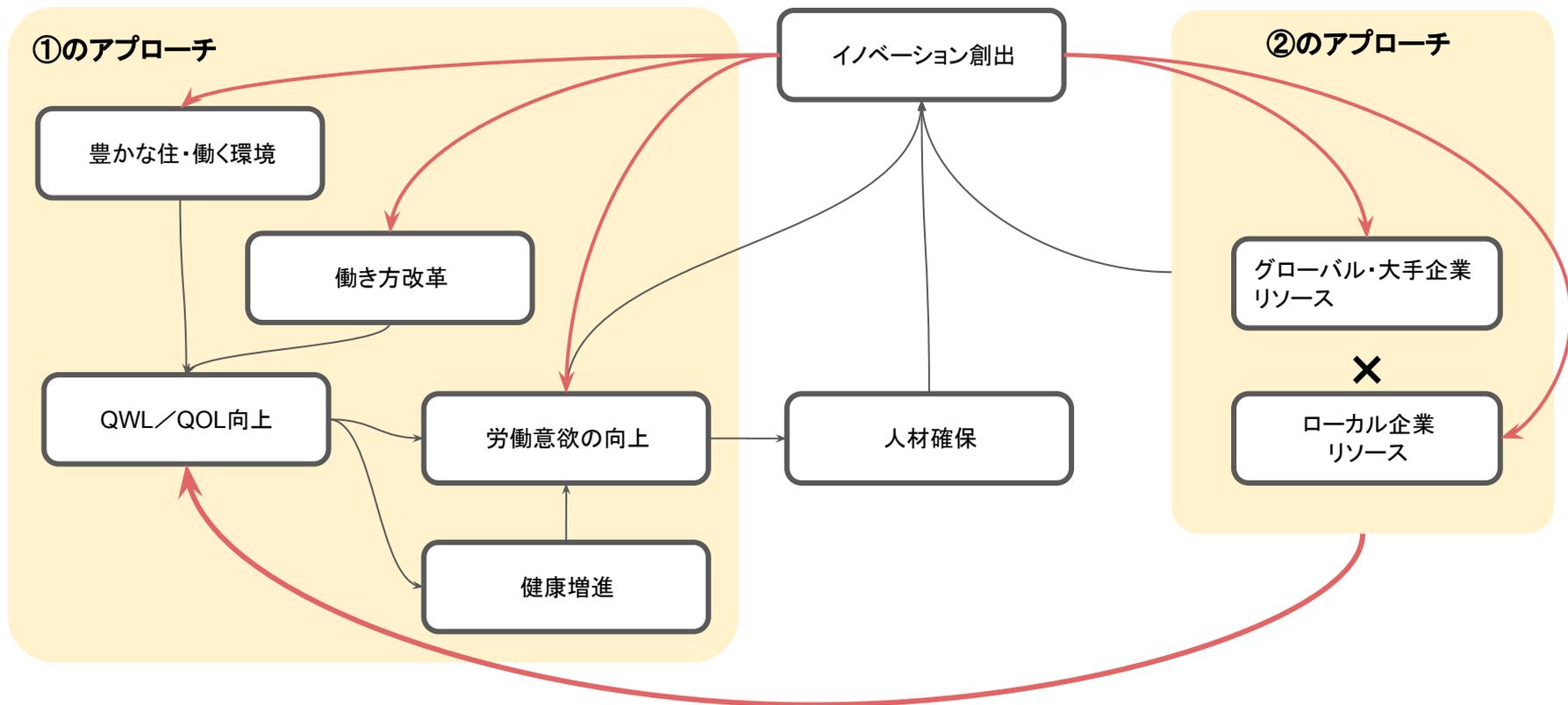
企業における地方分散型テレワークの効用

新しい仕事のスタイルである「地方型テレワーク」「ワーケーション」は、企業にとって次の5つの効果があるとされています。

①イノベーション創出	非日常的な環境で、リフレッシュしたり、従業員同士や地域住民や事業者との触れ合いにより、新たな発想が生まれやすい。
②労働意欲向上	情動的な組織への所属意識および仕事のパフォーマンスの向上。
③働き方改革への対応	ワーケーション先での有給休暇の取得が促進される。
④人材確保	従業員の離職率を抑え、採用面では優秀な社員を獲得しやすくなる。
⑤健康増進	心身のストレス低減効果と運動量増加に効果がある。

好循環を生む島テレワーク合宿のアプローチ

働き方改革とイノベーション創出に好循環を生む2つのアプローチ



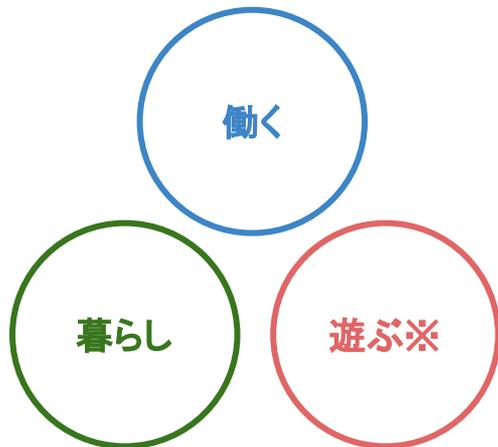
我々が提案したい「新しい働き方」

戦後のサラリーマン的な働き方は、会社に出社して「働く」、家族と過ごす「暮らし」、趣味やリフレッシュ等の「遊ぶ」(ボランティアや副業などのライフワークとしての活動含む)の時間は区別されてきました。しかし、テレワークやパラレルワークが注目されるなど、働き方や暮らし方の価値観が多様化してきています。

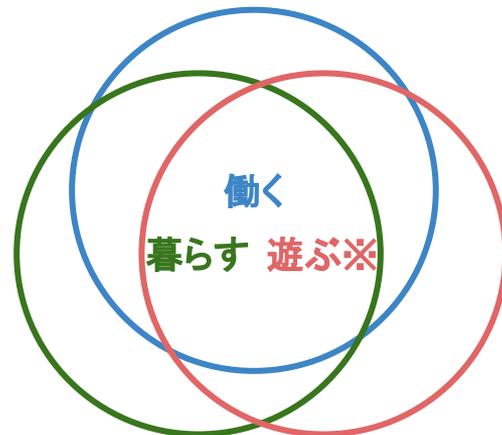
「遊ぶように働く」「住みたい場所で暮らし働く」「やりたいことを実現するための仕事」は、創造性を高め、本人の生活・仕事の品質だけでなく、所属する企業や地域の価値創造に繋がると期待が高まっています。

「新しい働き方」が、個人および企業・地域の価値創造に繋がることを実証するため”島テレワーク合宿”を実施します。

従来の働き方



新しい働き方



※趣味やリフレッシュだけでなく、ライフワークとしての活動(ボランティアや副業など)も含む

渾然一体となる場(=暮らしたい・遊びの場で働く)

島テレワーク暮らし・働き方の例

ユニコーン企業のエンジニア、地元のITコンサルタント、副業としての宿経営など



ユニコーン会社員プログラマー
(リモート勤務/月2大阪勤務)



釣り人・船のオーナー



地元企業・行政コンサルタント



一児パパ



一児ママ



宿の経営



ユニコーン会社員 UXデザイナー
(完全リモート)



一般社団法人 理事
フリーランスデザイナー

”島テレワーク合宿”の概要

対象:

地方テレワークやサテライトオフィス、ワーケーションなどの地方分散型オフィスに関心のある企業

実施期間:

2020年12月～2021年2月の間の2泊3日～（日程は希望候補を伺った上で決定します）

※合宿プログラムは3日間ですが、4日以上滞在して通常業務のお試しや休暇滞在も可能です

場所:

コリビング型ワーケーション施設「オオミシマスペース」

〒794-1403 愛媛県今治市上浦町甘崎1538

アクセス:

新幹線「福山駅」→高速バス「大三島BS」→徒歩15分

費用:

滞在費（上限30万円）と研修費を負担します。

※現地までの交通費、滞在時のプログラムに含まれない食事代や移動費は御社または参加者にてご負担をお願いします。

募集数:3企業（1社1回5名まで）

合宿メニュー

2つのテーマを中心に、御社や参加者のご希望や課題に応じてオリジナルプランを提供いたします。

1. 「新しい働き方」デザイン

- 業務特性、社員特性に応じた貴社ならではのテレワークのあり方の創出
- さらに、その実現に向けての課題や解決法を検討します

2. 新たなビジネスアイデアの発想

- 地域と企業の課題と資源を抽出し課題解決およびイノベーションの機会を創出を目指します
- UXデザイナーと行動観察研究員とともに、共創プロジェクトの新価値創造を体験します

どちらのテーマも、次の創造的プロセス及び手法を学ぶ機会が含まれます。

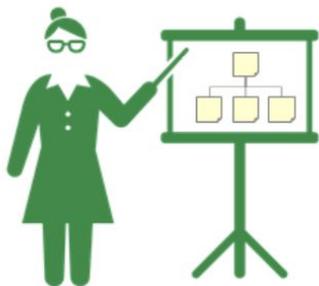
- アイデア創出のためのアブダクティブなデータ統合のグループワークの進め方
- 創造的なプロジェクトの進め方の体験

発想を生むためのグループワークのポイント

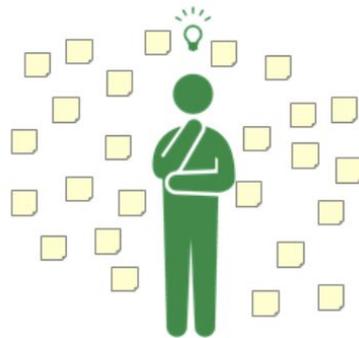
収集した情報(データ)を、既存の枠(フレーム)に当てはめて整理分類すると、既存の発想から抜け出すことができない。新しい発想を得るためには、新しい軸が浮き上がってくるようにデータを統合・総合※することが必要。

※総合=分析の対義語 統合・総合を行う3つのポイント

1. 整理しない、分類しない
2. 部分的にみない、全部としてもみない(全体としてみる)
3. 己を空しくして、データをして語らしめる
自身の思い込みや思考の枠を取り払って、データを素直に受け入れ、あるがままの事実を理解する



既存の枠組みを打破できない



混沌(カオス)の中から新しい発想は生まれる

合宿プラン案①「新しい働き方」デザイン

日程	内容	食事
Day1 12:30 13:00 15:30 16:30 18:00	集合 【ワークショップ】暮らしを考えるワークショップ(インサイトワーク) 【事例紹介】テレ・マルチワークの最新事例を聞く(増田) 【ワークショップ】理想のテレワークスタイルを発想 懇親会	夕
Day2 08:30 10:00 12:00 13:30 14:30 15:30 17:00 18:00	【島暮らし体験】ローカル暮らしを体験(早朝クルーズ・朝食) 【テレワーク実践】理想のテレワークスタイルのトライアル 1(プロトタイピング) ランチ 【事例紹介】ローカルな働き方事例を聞く(ローカル事業者) 【ワークショップ】自社を知る(あらためて再考)、さらなる理想のテレワークスタイルを発想 【テレワーク実践】理想のテレワークスタイルのトライアル 2(プロトタイピング) 【ワークショップ】振り返り・改善案の策定@大三島ブリュワリー 懇親会	朝 ・ 昼 ・ 夕
Day3 08:30 10:00 12:00 13:30 14:30 16:00	【島暮らし体験】ローカル暮らしを体験(散歩・トレッキング・サイクリング) 【テレワーク実践】理想のテレワークスタイルのトライアル 3(プロトタイピング) ランチ 【事例紹介】ローカルな働き方事例を聞く(ローカル事業者) 【ワークショップ】理想のテレワーク実践に向けての課題提起と解決の方向性の検討およびディスカッション 帰路へ	朝 ・ 昼

※プログラムは1例です。参加企業・参加者の目的やご希望に応じてプログラムを作成します。

合宿プラン案②新たなビジネスアイデアの発想

日程	内容	食事
別日	事前に今回検討対象となる商品・サービス領域を選定	
Day1 12:30	集合 【ワークショップ】現在の自社商品・サービス開発についてのダイアログ・ワーク(認識共有ワーク)	夕
13:00	【ローカルビジネスモデル開発事例研究①】オオミシマスペースのビジネス開発、顧客理解・サービスデザインの事例紹介	
15:30	【生活者インタビュー・フィールドワーク】(大三島島内生活者で実施)	
16:30	【ローカルビジネスモデル開発事例研究②】大企業にはできない商品づくり(ローカル事業者)	
18:00	懇親会@大三島ブリュワリー	
Day2 08:30	【島暮らし体験】ローカル暮らしを体験(早朝クルーズ・朝食)	朝 ・ 昼 ・ 夕
10:00	【インサイトワーク】昨日収集した生活者情報を統合しインサイトを導出する	
12:00	ランチ	
13:30	【ローカルビジネスモデル開発事例研究③】日本一のジビエ肉を生むマルチワークなビジネスモデル開発事例(ローカル事業者)	
14:00	【ローカルビジネスモデル開発事例研究④】畑づくりからはじめた県外客が来る商品開発事例(ローカル事業者)	
14:30	【ワークショップ】自社を知る(あらためて再考)	
15:30	【アイデアワーク】新たな商品・サービスアイデアを発想	
18:00	懇親会	
Day3 08:30	【島暮らし体験】ローカル暮らしを体験(散歩・トレッキング・サイクリング・朝食)	朝 ・ 昼
10:00	【ワークショップ】アイデアのプロトタイピング(必要に応じて地元企業とコラボ相談)	
12:00	ランチ	
13:30	【アイデアワーク】アイデアをブラッシュアップする	
15:00	アイデア発表会	
16:00	帰路へ	

※プログラムは1例です。参加企業・参加者の目的やご希望に応じてプログラムを作成します。

大三島のご紹介

瀬戸内の島のひとつですが、瀬戸内しまなみ海道で繋がっているため、車やバスでのアクセスが可能です。新幹線「福山駅」から高速バスで約1時間。広島空港まで車で約1時間、松山空港・岡山空港まで車で約1時間半。しまなみ海道は世界的なサイクリングロードが有名で、多くのサイクリストや大山祇神社への観光客が訪れます。また大三島は、移住者や有機栽培農家、店舗が増えており、注目されている島です。一方で過疎化による地域課題は深刻化しています。地域住民や事業者、そして地域課題のコラボレーションによる新たな事業創出も期待されています。



オオシマスペース紹介(施設概要)

古民家を改装した一棟貸し切りのコリビング施設です。

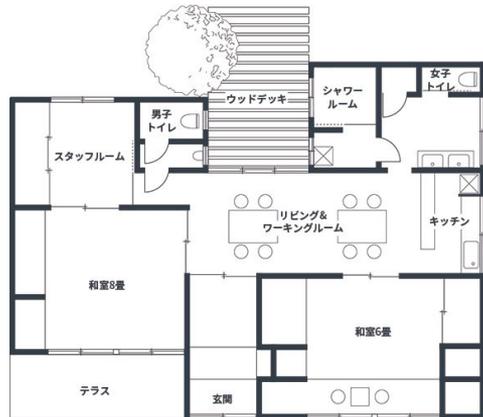
約20畳のリビング&ワーキングルームと、和室の寝室が2部屋あり、テレワーク滞在の場合は5名様までご利用可能です。

設備・備品:

wifi、42インチ4Kモニター、HDモニター5台、ホワイトボード、ワークショップ備品(模造紙、付箋、ペン)、床下延長コード、ドラム式洗濯機、キッチン(料理に必要な道具は一通り揃っています)、冷蔵庫、オープンレンジ、オーブントースター

アメニティ:

バスタオル・ハンドタオル、使い捨て歯ブラシ、ドライヤー、シャンプー・トリートメント・ボディシャンプー、(寝間着はご持参ください)



THANK YOU

”島ワーケーション合宿”のお申し込み・お問い合わせはこちらまで。

オオシマワークス合同会社 担当:増田・徳見
info@omishima-works.com